

おかしいぞ国交省 交通政策審議会！？

反対意見が7割を超えるにもかかわらず

リニア中央新幹線計画を妥当と認める

パブリックコメントの結果発表 反対意見648件

5月12日国土交通省の交通政策審議会は、JR東海の中央新幹線計画（リニア新幹線）を妥当と認め、「南アルプスルート」が妥当と国交相に答申をしました。

答申にさきがけ、一般に広く意見を求めたパブリックコメントの結果が発表されました。結果は応募件数888件のうち①中央新幹線を早期建設すべき**16件**（前回83件）②中央新幹線に反対、計画を中止または再検討すべき**648件**（前回142件）でした。なんと**7割が反対意見**でした。にもかかわらず、審議会は中央新幹線を妥当と判断したのです。

約9兆円の建設費大半をJR東海が負担

この答申をふまえ、JR東海は、年内の環境評価に着手し準備を進めることとなります。しかし問題は山積みです。「東日本大震災の影響がおさまっておらず、新たな大規模事業を進めるような状況ではない」「中央新幹線にかかる費用エネルギー、人的な資源は復興に当てるべき」「福島原発事故が収束のめどが立っておらず今後のエネルギー政策も不透明である」など多くの反対意見に見られるように、なんら問題を解決せずに着工への道がつくられようとしています。 想定される3つのルート（日経BP社より）

JR東海は9兆円を超す建設費を費やすことになるのです。しかも、これまでの大規模事業は、当初の予算で収まった例はありません。当初予算の2倍3倍になると言われています。

私たちは、会社の経営の根幹を揺るがす事業を認めるわけには行きません。

